

# R & D部門における効果的なデータ管理手法

## ～AIの活用を見据えたデータ管理の体制づくり～

- ◆日時：2021年01月19日(火)10:30～16:30
- ◆会場：【WEB限定セミナー】  
※在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆受講料：1名につき55,000円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
  - ・1名でお申込みされた場合、1名につき49,500円(税込)
  - ・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料(2名で55,000円(税込))

### セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

(株)キャトルアイ・サイエンス 代表取締役 上島 豊 氏

IoT等で製造工程以降のデータ利活用は、急激に進展しています。一方、公的研究機関であれ、民間企業であれ、R&D部門におけるデータと取り扱い、属人的のままであり、効果的な利用、活用が殆ど進んでいないのが実態です。R&D部門は技術の源泉であり、データを精緻に管理し、効果的な利用、活用、つまりデータ分析、AI化を行うことは、今後の競争力にとって不可欠です。本講演では、まず、R&D部門のデータ管理の実情をお話させていただき、そのような状況がなぜ生まれているのか？そのような状況にはどのような問題をはらんでいるのか？を説明させていただきます。次に、データ管理状況を改善するために必要な方策に関して、導入すべきデータ管理システムに必要な要件及び各個人に必要な意識改革、会社としての体制づくりなどを説明させていただきます。最後に、これら方策を実施した具体例を基に改善効果および改善運用後陥りがちな落とし穴とそれらの回避方法に関して、紹介させていただきます。

### 1. はじめに

講演者のR&D実績とデータ管理の取り組みについて

### 2. R&D部門のデータ管理の実情

- 2.1 R&D部門のデータ管理状況
- 2.2 属人的データ管理状況が生み出される原因
- 2.3 属人的データ管理状況が引き起こす問題

### 3. データ管理状況を改善するために必要な方策

- 3.1 属人的データ管理状況を脱するためのデータ管理システム導入に必要な要件

- 3.2 属人的データ管理状況を脱するために必要な各個人の意識改革
- 3.3 属人的データ管理状況を脱するために必要な会社としての体制づくり

### 4. 方策を実施した具体例とケーススタディ

- 4.1 データ管理システム導入による改善例
- 4.2 データ管理システム導入の失敗例とそれを防ぐ方策
- 4.3 データ管理システム運用後陥りがちな落とし穴とそれを防ぐ方策

### 5. まとめ

## 『データ管理手法【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。		<input type="checkbox"/> Eメール <input type="checkbox"/> 郵送	

### ●セミナーの受講申込みについて●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。  
 セミナーお申込み後のキャンセルは基本的に受け付けておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>  
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。  
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社 R & D 支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F  
 TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>